

三陸北縦貫道路「中野バイパス」開通後の効果（速報）

- ・ 国道45号の交通の約7割が転換
- ・ 宮古市方面への救急搬送に利用されました

平成22年11月28日に全線開通した三陸北縦貫道路「中野バイパス」（岩泉町小本～田野畑村大芦）延長6.2kmについて、開通直後の交通状況を取りまとめましたので、お知らせします。

■ 国道45号の交通量は、開通前に比べ約1,600台/日減少し、約7割が中野バイパスに転換

■ 国道45号の大型車交通量は、開通前に比べ約380台/日減少し、約8割が中野バイパスに転換
（通過交通の殆どが中野バイパスに転換していると考えられます）

■ 開通後1週間（11/28～12/5）で、田野畑消防分署管内から宮古市方面への救急搬送に利用（1件）されました

今回は開通直後の交通状況についてのお知らせです。本区間の開通による効果等については、引き続きデータの収集・分析を行い、皆さまにお知らせしてまいります。

三陸国道事務所ホームページ（<http://www.thr.mlit.go.jp/sanriku>）

発表記者会：岩手県政記者クラブ、東北専門記者会、宮古記者クラブ、
釜石記者クラブ、大船渡記者クラブ、久慈報道機関各社

【お問い合わせ先】

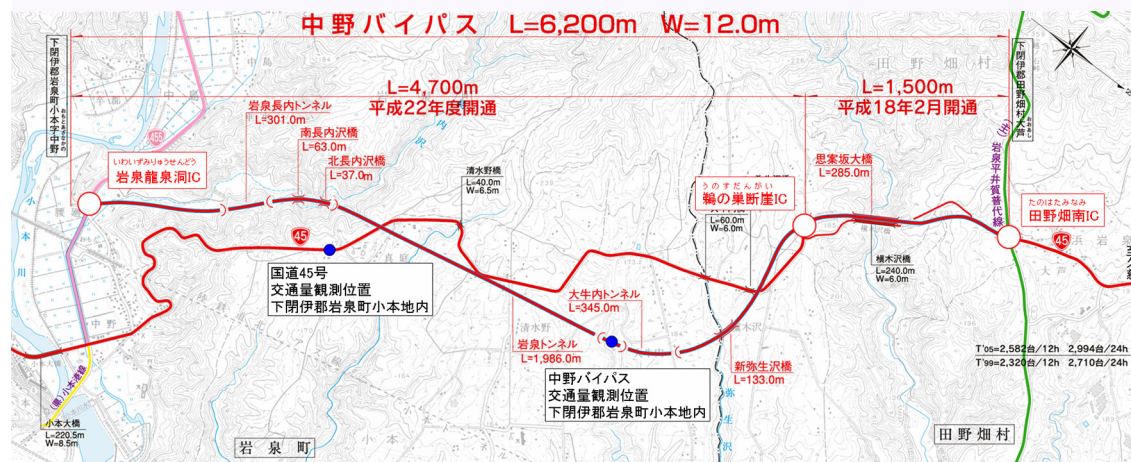
国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所（岩手県宮古市藤の川4-1）
調査課長 武田 たけだ 滋生 しげお TEL 0193-71-1711（内線451）

一般国道45号

中野バイパスが開通して

(平成22年11月28日開通)

①国道45号の交通の約7割が転換



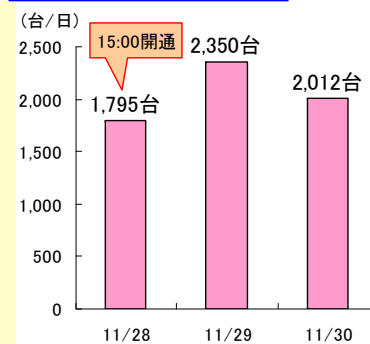
○国道45号の交通量は、開通前に比べ約1,600台/日減少し、約7割が中野バイパスに転換

○国道45号の大型車交通量は、開通前に比べ約380台/日減少し、約8割が中野バイパスに転換

開通した中野バイパス



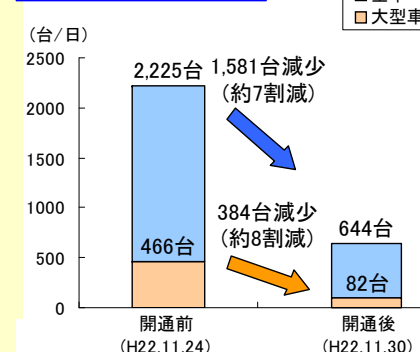
中野バイパスの交通量の推移



※11/28は15時～翌7時まで

※11/29及び11/30は7時～翌7時まで

国道45号の交通量の変化



工事期間:平成13年度～平成22年度

総事業費:約150億円

延長:6.2km

幅員:12.0m(完成2車線)

構造規格:第1種第3級

設計速度:80km/h